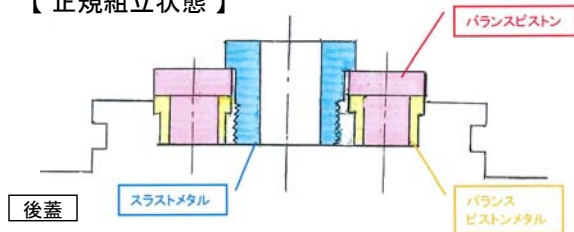


## ポンプ分解時 前回の組み間違いにより内部にバランスピストンが脱落していた

## 【発生状況】

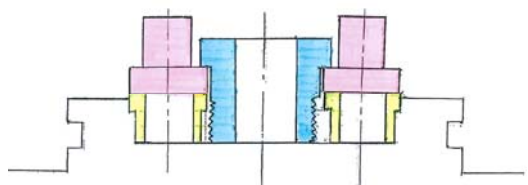
制御油ポンプを分解した際 機器内部にバランスピストンが落ちていた。  
 前回施工時に バランスピストンを組み間違えたため脱落したと思われる。

## 【正規組立状態】

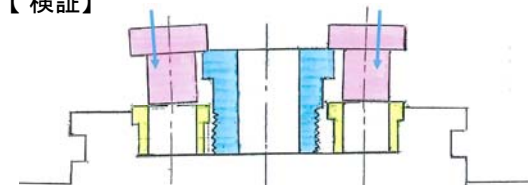


バランスピストンを入れた後にスラストメタルを組み込む

## 【組み間違えた状態】



## 【検証】



スラストメタルが組み込んであるとバランスピストンは入らない



スラストメタルの受け台には切り込みがありここにバランスピストンがはまるので、正規の組立手順であればバランスピストンは落下しない

後蓋



この中にバランスピストンが落ちていた。組み間違えたまま後蓋を取り付けようとしてその際に落ちたと思われる。

## 【原因・問題点】

- ① バランスピストンを逆向きに組み込んでいた。(組立手順の間違い、機器の構造の理解不足)
- ② 簡単な構造だと思い、図面や組立時の状態の確認が不足していた。
- ③ 分解時と組立時で作業者が変わっていた。

## 【対策】

- ① 機器の分解整備においては、図面や作業手順をよく確認し、理解した上で作業を行う。
- ② 機器の組立・復旧時には最終確認を行う。(必要に応じて監督や客先の立会を行う)
- ③ 分解作業と組立作業は、できるだけ同一の作業班、作業者で行う。